



# 第1回 「世界農業遺産」勉強会

～テーマ：里地・里山の保全と大崎耕土の恵み～

大崎地域では、昔から途絶えることなく続けられてきた農業の営みや農村の伝統、文化など、未来に残し、伝えるべき大切な農業システム「世界農業遺産 (GIAHS)」認定を目指しています。

世界農業遺産とは何か、大崎地域の農業農村の宝とは何かを市民の皆さんと再認識し、学び、意見交換するため、勉強会を開催します。

日時 平成 27年 **7月25日(土)** 14:00～16:00  
(開場・受付 13:00)  
会場 **吉野作造記念館 研修室**  
〒989-6105 大崎市古川福沼1-2-3

主催 **大崎地域世界農業遺産推進協議会**  
構成市町:大崎市、涌谷町、美里町、色麻町、加美町  
協力:宮城県北部地方振興事務所

話題提供 **大崎地域のイグネとその役割**  
NACS-J自然観察指導員 **親川 麗子 氏**

講演 **里地・里山の保全と大崎耕土の恵み**  
～生態系サービス保全の視点から～  
宮城教育大学 教授/国際理解教育研究センター長  
**小金澤 孝昭 氏**

定員 **50名** (大崎地域内外を問わず、どなたでもご参加いただけます)

※申し込み方法及び問い合わせ先は裏面をご覧ください。



# 【スケジュール】

【趣旨説明－14:00～14:20】

## 世界農業遺産（GIAHS）と大崎地域の認定に向けた取り組み

大崎地域世界農業遺産推進協議会 平山周作（大崎市産業振興局長）

【話題提供－14:30～15:00】

## 大崎地域のイグネとその役割

NACS-J自然観察指導員 **親川 麗子 氏**

活動実績：県内の複数教育機関において、生徒や教員を対象に生活科や総合的な学習の授業・講話や体験活動 / みやぎ生協等各団体が主催する講座で、子供や一般を対象に、自然観察、ハイキング、植林体験会を行い、動植物の生態系を学びながら自然環境保全について考察

その他：自宅で生物多様性に富んだ「いぐね」を保全し、グリーンツーリズム等で紹介している。四季の森を歩く会を主催。

【講演－15:10～16:00】

## 里地・里山の保全と大崎耕土の恵み

宮城教育大学教育学部 教授 / 国際理解教育研究センター長

**小金澤 孝昭 氏**

経歴：1982年 東京都立大学大学院理学研究科博士課程単位取得

1993年 博士（農学）取得（北海道大学）

1998年 宮城教育大学教授

宮城教育大学国際理解教育研究センター教授

国連大学サステナビリティ高等研究所客員教授

活動：NPO法人環境保全米ネットワーク 理事長 / 仙台いぐね研究会代表世話人 /

みやぎ食の安全安心推進協議会長 / 仙台広域圏ESD・RCE運営委員会 委員長



## 《FAX用参加申込書》 申し込み締め切り：7月24日（金）

FAX、電子メール、または電話にてお申込みください。

No.	所属	氏名	電話番号	備考



## 大崎地域世界農業遺産推進協議会

事務局：宮城県大崎市産業経済部産業政策課 世界農業遺産推進室

〒989-6188 宮城県大崎市古川七日町1番1号

TEL: 0229-23-2281 / FAX: 0229-23-7578 / Email: sangyo@city.osaki.miyagi.jp